



ついに帰国をする時が訪れました。他の日本人留学生が送迎バスと直行便で団体帰国していくのを横目にしながら、私は一人でパリに向かい、地下鉄を乗り継ぎ丸二日かけて帰国しました。送迎バスや飛行機の手配がなかったことを不満に思っているわけではありません。むしろ反対に、帰国期間の制限なくフライトを自由に選択できたことに感謝しています。なぜなら、フライト選択の失敗や、パリでの生活を含め、帰国前のフランスを楽しめたからです。私は学校終了後、即退寮し、パリの友達の家に向かいました。パリで知り合い関係の陶芸家が個展を開いており、通訳を手伝って欲しいと声をかけていただいたのです。通訳はとても難しいものだと思っていました。フランス語は理解していても、日本語でなんと言うのか分からないのです。会話はどんどん進み、考え込める時間ありません。日本語を見つけられずにいると他の日本人がそれを簡単な言葉で訳しました。訳された内容は言っていることとだいたい同じなのですが日本語にするとニュアンスが違うよなと思ひ、もやもやしました。一つの単語でも訳し方はいろいろあるわけで、どの言葉を使うかは翻訳する人が決めるのです。しかし、お互いの言語を知らない2人にとっては通訳者の翻訳がすべてであり、相手が話したことだと受け取ります。つまり、通訳者次第で相手の印象が変わるともいえます。そう考えると、半端な通訳はできません。私にはまだ通訳のスキルがないなと思ひました。と同時に、勉強するときには直訳だけでなく、文の本質やイメージが変わらない訳も意識しようと思ひました。そしてこれに関しては、たくさんの場面を経験し言葉を見つけていく必要があります。日本に帰って来た今、どのようにレベルを上げていくのか(現時点、帰国してから学習時間が0に近い) 解決策を見つけなければならないと思ひます。

パリではホストシスターのシェアハウスに泊めてもらっていました。いつでも好きなだけいいよと言ってくれ、本当にホストシスターや友達にはどれだけ助けられたか測り知れません。普通にパリに数日間滞在するとなれば、ホテル代、レストラン(パリでお手頃なところを探すのは至難の業)とかなりの経費と準備が必要になります。さらに、携帯のSIM 解約が複雑で困っていると電話一本で解決してくれ、空港までの交通手段も助けてくれました。私は飛行機を選ぶとき、9:30のフライトなら問題ないと思って予約したのですが、出発の三時間前に空港についていなければならないことを計算しておらず、家から空港までは約一時間半だったので5時には家を出なければなりませんでした。さらに、その時間帯はまだ地下鉄が動いなかったため、初めてHeetchというシステムを使いました。これはUberと同様のシステムで、アプリで運転手を見つけ、目的先まで送ってもらうことができます。タクシーよりもはるかに安く利用することができるこのようなシステムはフラン

スに広く普及しています。例えば **blablacar** とは個人が車で移動する際の空き席を利用して、目的地が一緒の人を募集し、相乗りにお金を払うシステムがあります。簡単にいうとヒッチハイクの計画されたビジネス版といったところでしょうか。口コミや登録、セキュリティの対策が整っているため多くの人が利用しています。また、**airbnb** は日本版もあるようですが、フランスで初めて知り、旅行の際たくさん利用してみました。これはホテルに代わるもので、個人が所有している家やアパートを宿泊先として提供するものです。使っていない空き部屋などが活用され、様々な家を体験できるためとても面白いシステムだと思いました。しかし、たまに連絡が取れず部屋に入れなかったり、写真のものと実物が異なったりするため、注意が必要です。ホテルに近い宿泊先もあれば、本当に家の一部屋を借りる、一日ホームステイのようなものもあり様々でした。話がずれてしまったのですが、本当にホストシスターと友達には感謝しており、自分が助けてもらった分、私も人を助けて生きていきたいと思いました。

新年



高校時代に出会ったフランス人と二年ぶりに再会し、新年を一緒に過ごしました。二年ぶりの再会というのはフランス語の向上が明確に図られるタイミングでした。友達からはフランス語すごく上達していると言ってもらえました。しかし、二年前は全くフランス語が話せない状態で留学しているのに対し、今はフランス語だけを毎日勉強しているのだから成長していなければ困るのです。実際に二年前と同じ状況（フランス人学生のマシンガントークが飛び交う環境）で、前よりも理解できているのは感じましたが、想像以上に会話についていけず悔しさを感じました。なぜ想像よりも話せなかったのかを考えました。もちろん語学学校ではフランス語で会話をしていますが、会話している相手もフランス語を学んでいる外国人のため、お互いにレベルが一緒で理解しやすかったのです。そのため自分のフランス語が通じる、理解できる、と思っていたのです。そして、ある程度簡単な言葉が通じるようになってきてから、言語の成長スピードはとても遅く感じます。伝わらない状況にいるときは必死で学習し、「伝わらない」から「伝わる」は大きな成長で、見えやすいです。それに対し、最低限のボキャブラリーを身に着けると、だいたいことは伝わるようになり、学習への必死さが欠けていきます。それでも新しい単語を身につけネイティブに近いフランス語を話せるようになるため頑張りたいです。ちなみに、フランスでは、新年は友達と過ごすのが一般的です。友達の家の中はパーティー騒ぎになるわけですが、パーティーをするために両親を家から追い出すのがすごいなと思いました。（追い出すといっても両親も他の友達の家に行っている）日本では一人暮らしの子の家に集まることが多く、実家でも親を追い出すことはめったに見ないため、そんなのもありなのかと感心してしまいました。友達は

普通だよといい、みんなも遠慮なく朝まで騒ぎ続け、日本とは全く異なる新年を迎えました。まさか、高校留学時のクラスメイト達に会えるとは思っていなかったためとても嬉しかったです。またフランスに行き会える機会を作れるようにこれからも頑張りたいと思いました。